

---

# MIKKI-

紗蔵 慧蓮

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

MIICKER

### 【コード】

N6039Y

### 【作者名】

紗蔵 慧蓮

### 【あらすじ】

高校生活の話です。いまだに何が書きたいのかよくわからないんですけど、普通の高校生がおかしな仲間と楽しく過ごせたらと考えてますw

私にも春！！

こんな退屈な毎日がつつと続くと思ってたんだ。

高校一年生ももうすぐ終わる。小学校の頃に父が癌で死んでから、母と兄と妹の三人で暮らしてきた。勉強も運動も人並み。目立つ方ではなく、ぼつちになっっていることもない。要するに、平凡な女の子として生きてきたのね。

『幹南さんへ』

下駄箱を開けたら（ウチの高校にもパカパカきたー！）、紙片が入ってた。正確に言うと、手紙が入ってた。

まさかの漫画パターン？よく見るとノートの切れ端…。彼氏いない歴16年、幹南又柚、舞い上がりました！…。

え、、気を取り直しまして…。

『幹南さんへ 放課後、物理実験室で待ってます。』

…や、やっぱりこれって、もしやのあれですか？16歳にしてやっ…やっ…やっ…私にも春が来たあ！

思い出しながら廊下を歩き、ドアを開け…。やっぱり現実ってそう上手くできてないよね。

「あ…あのお。」

「あら、幹南さん、遅いから来ないかと思ったわ。来てくれたのね。」

何故か私の名前を知っていて…、来てくれたって言った？

「あのお…。」

「あ、私、2人の三月美喜って言います！よろしく。」

「よ、よろしくお願いします…？」

ああ、握手とかしちやってるよ。なんかすごい笑顔だよ。何この人ー！

「えっと、ここに呼んだのは他でもないわ。私あなたに惚れたの。」

…この人何言ってるんだろう。

「あの、頭とか打ちました？」

「あら、毒舌なのね。そういうのも良いわ。あとね 私は本気よ」？

「…（は始まった。）

## 学生は出合いが多い

「又柚ー？ご飯食ーべよ！」

すでに日課と化してしまった昼。『私はOKした覚えはない！』  
ほぼ強制的に屋上へ連れていかれる…。

ちよこつとだけ行きたい理由もあるんだ。

高校入学してから二度目の春。私は無事進級し、クラスの仲間と別れんのやだな〜とか次のクラスでうまくやってけるかな〜とかぼんやり考えてたとき、

「さーゆー！」

ああ、今日も朝から…

「うわっ、危ない！」

「うげっ」

華の女子高校生…なんとという言葉を使ってしまったんだあ！

それより…

「痛ーい！」

「マジでごめん。大丈夫？怪我不い？」

「又柚ごめんねえ。ついつい興奮しちゃってねえ。そしたらコイツがハンドル操作を…」

「完璧お前のせいだろ！もっと真剣に謝れ！」

「大丈夫よ、又柚はたくましいから。ね、又柚？」

『ね、又柚？』じゃないだろ！急に自転車がぶつかってきたと思ったら、美喜先輩と見知らぬ少年…って

「先輩、彼氏いたんですか！」

「えー、何でそうなる。てか美喜って呼んでって言うてるでしょ？」

「じゃ、その人誰ですか。先輩と男子が普通に話してるとこ初めて見たんですけど。」

「え、スルー？彼女に対しての愛情が…」

「コイツは姉貴。俺は同じ学年の三月唾遊都。よろしく。」

## 学生は出会が多い(後書き)

余計に話がわからなくなりました( ; | ;  
もうちよっと考えて投稿します( ; | ; )

弟か…

姉貴…？

「あつ、先輩の弟さんですか。」

納得。そういえば目元とか似てる気がしなくもなくもない。

「今年からこっちに転入。それでこいつ調子乗って俺の自転車に…」

「それが『お姉さま』に聞く口？たまには『姉貴、乗ってけよ。』とか言ってくれたって良いじゃない。」

「死んでも言わないね。じゃ、又袖ちゃん行こうか。」

「こら！私の又袖を取らないで！又袖、お見送りしてよね。」

あのお、私どうすれば…。

こんな感じに私たちは出会った。

唾遊都とは同じクラスで、昼も一緒。これが私の密かな楽しみ。

この兄弟の話が面白いんだなあ。

けんかするほど仲が良いって言うけど、本当にその通りだと思っ  
ね。私一人っ子だから良くわからないけど。

勉強ばっかの退屈な学校生活に光が射したんだ。

弟か…（後書き）

ここから話考えるんで、ホント崩壊しますw

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6039y/>

---

MIKKI-

2011年11月18日08時14分発行